

新任理事あいさつ

災害現場で命をつなぐBLS

この度、理事に就任致しました酒井と申します。福井大学では、学生にいのちの大切さを伝えたいという一心で災害看護教育を継続しております。命のバトン理事長の川崎眞弓さんとの出会いは、新理事の福岡さんが作成した「命のバトン」のDVDでした。ある日突然、愛する家族を失うことの意味を身体とこころで感じ何度見ても涙が溢れました。そして、川崎さんに出会い、自分の身に降りかかった突然の不幸が繰り返されないようにと願いながら、AEDの普及と心育てる講習会で目の前の命をつないでいく活動を継続されていることに感動しました。

私は、災害看護を専門としており、東日本大震災では災害翌日から被災地で活動しました。津波により陸の孤島となった地域も多く、医療資源が少ない地域で、災害時に命を守るための行動がとれる実践的トレーニングの重要性を実感しました。救える命は何としても救わねばなりません。その際には、いのちの大切さを身をもって感じ、勇気を持って迅速に行動できる人を育てていかなければなりません。微力ですが、川崎さんの仲間の一として自分にできることを考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



福井大学 医学部 看護学科 教授 酒井 明子

BLS教育の普及のために

中学生に「命の大切さ」の指導で川崎さんに講演をしていただいたのがBLS教育との出会いでした。この講演は、中学生が真剣に話を聞き、涙している生徒もいて、自分の命、相手の命を大切にすること、自分にも救える命があることをしっかりと受け止めさせてくれるものでした。その後、私の赴任した学校では、BLS教育を実施してきました。これは、命を助ける教育のみならず、いじめや自殺、虐待等、人を傷つける事件などが多発している時代に幼いころからこのBLS教育を通して、子どもたちの人格形成の一端を担っていると思ったからです。

BLS教育は学習指導要領にも位置づけられ、また学校現場にはAEDが設置されているにも関わらず、なかなか指導の時間が確保できにくいのも現実です。今、私は大学生に学校保健論を教授しています。この立場で私のできる普及活動は、学生に、養護教諭として赴任した時には、発達段階に応じたBLS教育を実施することの大切さを教えていくことです。この会の運営に微力ながらご協力できたらと思います。よろしくお願いいたします。



福井県立大学 看護福祉学部 非常勤講師 佐々木 リゅう子

家族でBLSを学ぶきっかけに

昨年8月、京都市内の保育園で本学の学生と教員が園児を対象に心肺蘇生法の講習を行いました。担当した学生や千田いずみ助教によると、園児たちはとても興味を示し、胸骨圧迫心臓マッサージやAEDの操作も真似て見事に出来ていたそうです。AEDの操作が容易であることや胸の真ん中を押すことを知り、これから成長していく中で命の大切さについて関心を持ち、家族でBLSを学ぶきっかけになってくれればと思います。

さて、全国各地でBLS・AEDの普及啓発が進んでいるものの、一般の方が遭遇した心肺停止でのBLS実施率やAED使用率はまだまだ低いのが現状です。大人になっていくと、差し伸べようとする手を止める何らかの思考が加わるのでしょうか。もし、それが「不安」であるとしたら、救急隊や協力が現れるまでの間、BLSを一人で行うことに不安を感じることは当然です。ですが、119番通報と同時に電話の向こうであなたを支える通信指令の消防職員がいます。現場に急行する救急隊員がいます。決して一人ではありません。あなたの温かい手を差し伸べてあげてください。そこから大切な命が繋がります。

京都橋大学 現代ビジネス学部 救急救命専門講師(助教) 福岡 範恭

お知らせ

facebookページ開設いたしました。

命のバトンの facebook ページを開設いたしました。ホームページに記載の投稿がタイムラインとして閲覧できる他、スタッフの気になる話題も順次投稿していきます。ぜひ「いいね！」をお願いいたします。URL : <http://www.facebook.com/inochinobaton>

出張講習会

スポーツ少年団やスポーツクラブ等、スポーツを行っている方々お子さんの居るご家族や育児サークルの方々、保育園～高校の父兄(PTA)の方々、会社での社員研修等さまざまなグループの「命をつなぐ」お手伝いとして出張講習会を提案させていただきます。仲のいいお母さん達の集まりやお友達同士等、少人数での出張講習も承ります。お気軽にご連絡下さい。

最新情報のお知らせ

命のバトンメルマガのご案内やBLSに関するニュース等をメルマガにて月に1度配信しております。メルマガ登録希望の方は下記 URL より登録してください。URL : <http://www.heartlife-fukui.com/mm/>

会員募集のお知らせ

一緒に活動して下さる方、この活動を応援して下さる方を募集いたします。私達の仲間に入りませんか。また、小学校などでのBLS授業のお手伝いをして下さるボランティアスタッフを募集しております。会員募集に関するお問い合わせは、下記メールアドレス又はホームページをご覧ください。E-mail : info@heartlife-fukui.com

定期講習会

「心肺蘇生法とAEDの操作方法を覚えたいんだけど、どこで教えてもらえるの?」そんなあなたの為に毎月1回定期講習会を行います。ご家族・お友達お誘いあわせの上、是非ご参加ください。(受講料1,000円/名) 場所: 福井駅東 ACOSSA 7階 (福井県福井市手寄1丁目4) ※定期講習会、出張講習会の詳細は命のバトンのホームページでご覧下さい。



福井大学の皆さんにお手伝い頂きました!

AED無料貸し出し 講習を受けた方を対象に、イベント時のAEDの無料貸し出しを始めました。

無料貸し出し資格の有効期間は1年間です。貸し出し出来る台数は2台のみですので、先着順とさせていただきます。ご連絡お待ちしております。

利用者の声

弊社が開くイベントで万が一の時に備えて「命のバトン」と知り合っで以降、自立的にAEDを持ち込み、来場者の安全確保しようとしています。幸いにも、一度も利用することはありませんが、設置してある安心感が、弊社の心の支えになっていることは間違いありません。今後も、できるだけ安全対策のひとつとして活用させていこうと考えております。 イベント企画運営会社 (有)企画町のせ商店 様



日本全国グルメ博 11月21日(金)～25日(火) サンドーム福井

命のバトンスタッフのひとこと

私はREM(自転車救急隊)の活動の中で川崎さんと知り合い命のバトンを知りました。命のバトンに入会した最初は川崎さんに引きずり込まれた感で満々でしたが(笑)、ある日を境に命を見つめ直す体験をしてこの活動を意義のあるものにしていきたいと思うようになりました。それは県内のマラソン大会でREMとして救護中に心肺停止のランナーに対して胸骨圧迫とAEDを使い若い男性の命を救えた体験です。この体験談を学校BLSなどで話す時、児童や生徒の皆さんが私に集中して聞いてくれると次の時代を生きる命が命を守る活動に繋がってくれるといふ感じがします。 まだまだ役不足ですが・・・自分なりにこの活動を頑張りたいです! (U)

年に数回命のバトンで小学校の指導に参加しています。最初は恥ずかしそうや、めんどくさそうにやっていた子供達が、時間がたつにつれいつの間にか一生懸命に胸骨圧迫を行って、最後には指導者にいろいろ聞いている子供達を見ると頼もしく見えてきます。あとは目の前で倒れた人を助けると思う気持ちをいつまでも持ち続けてほしいと思うばかりです。 (N)

命のバトンの活動に賛同いただいている企業様

- | | |
|-------------|----------------|
| 株池田大正堂 | 株ホーコース |
| 石山総合解体株 | 株宮永不動産 |
| 株オン・アンド・オン | 株東部レントオール 救命コム |
| 有坂井清掃 | 株長野ポンプ |
| 株ヒロセ・プランニング | (五十音順 敬称略) |

発行責任者

特定非営利活動法人 命のバトン
住 所 : 〒918-8202 福井市大東1丁目11番18号
代 表 者 : 川崎 眞弓
電話番号 : 090-7089-5958
E-mail : info@heartlife-fukui.com
<http://www.heartlife-fukui.com/>

発行日:平成27年3月

特定非営利活動法人 命のバトン ～命をつなぐ心育てる会～

はあとらいふ

5号
vol.5
2015年3月



命をつなぐ“あなたの手”

ご支援ありがとうございます

会員の皆様におかれましては、ご清栄のこととお慶び申し上げます。今年是一般市民によるAEDの使用が可能になって10年が経ちました。AEDの普及はどんどん広まっているものの、AED使用を含めた心肺蘇生法の普及はまだまだの状態です。救命における失敗は「なにもしないこと」と伝えてはいるのですが、一般市民による応急手当はかなり勇気のいることではないかと思っております。一歩前に進めるには技術はもちろんですが、「命をつなぐ心」が必要ということではないでしょうか。これからもスタッフ一同、この心を伝えるべく熱い思いで活動していきたいと思っておりますので今後ともご支援のほどよろしくお願い致します。

理事長 川崎 眞弓

杜南小学校

BLS教育をおこなって

本校は、平成23年度より毎年、NPO法人【命のバトン】の方々によるBLS授業を実施しています。対象は6年生で、平成26年度は146名の児童が講習会を受けました。講習会は、学校独自で行くと、時間や物品の都合上、代表者のみが体験して終わる講習となってしまいますが、【命のバトン】の方々の協力により、2~3人のグループで1体のマネキンを使用し一人一人が体験することが出来ました。体験型学習を行うことで、命の大切さ・人を助けたいという気持ちをより深く感じることが出来ていると思います。



養護教諭
刀禰 裕子

鯖江東小学校

BLS教育について

今年8月、市の養護教諭講習会で川崎さんと出会い、BLSを普及させたいという強い想いに感銘した。そこで、現任校の児童にこの熱い想いを直接伝える場を設けることで、自他の命の大切さを学んでほしいと考え、BLS教育の申し込みをした。

5・6年生120名が、体育館で真剣に説明を聞き、人形を用いて2人1組で対応する様子を見て、「実施してよかった」という思いでいっぱいになった。児童がBLSについて学び体験し、もしもの場面を想定し振り返るという活動を通して、何かが残り、次につながったのではないかと考える。

これからは、既に市内でBLS教育に取り組まれている先輩方とともに、子供たちを始め、多くの人にBLSを学んでもらえる機会をつくりたいと思う。



養護教諭 今立 久美



自分でできる
「救急法」
を教わりました。

清水南小学校

命の大切さを学べた

AEDの使い方や胸骨圧迫のやり方を教えてもらい、人を助ける一歩を踏み出せました。自分の出来ることを精一杯やろうと思います。



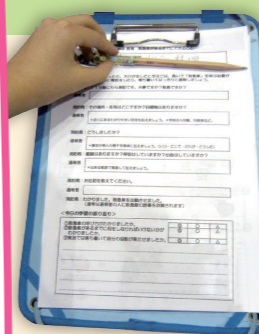
中藤小学校

人に声をかける勇気をもつ

救命救急は倒れている人に声をかけることから始まります。つまり、自分から勇気を出せば人が助かるのだと思います。「いつ ところで だれが倒れてしまうか分からない」の言葉を忘れずいつでも勇気を出せるようにしておこうと思います。



今日の学習の
振り返りをしました



円山小学校

この経験を将来につなげたい

今日、BLS教室で、命の大切さや人が倒れたときのやり方をおそわりました。また、鳥羽さんの話を聞き、ほくは命は大切だと知っていたけど、鳥羽さんの話を聞いて自分の命はすごく大切だと改めておもいました。死んだら生き返れない。だから自分の命をすごく大事にしようと思いました。

私は医療の方の仕事につきたいのでこの経験を生かせたらと思います。そして、もし近所で、もし学校で、もし出かけた場所で、急にたおれて呼びかけても反応がない人がいたら真っ先に「大丈夫ですか?」とかけつけられるような人になりたいです。



大丈夫ですか?
と声をかけられる
人になりたい

敦賀

AED講習会を実施して

人が志を持ち、何かを始めようとする時、そこには強い動機がある。その一生懸命な姿にひとり、またひとりと手伝う人が現れる。便利で安心安全は、社会の目標だった。同時にそれは子どもたちの実体験の場を少なくした。しかし子どもが実社会を生き抜いていける大人になるためには、様々な経験を積み重ね、困難を乗り越えていくことを何回も何回も繰り返していかなければならない。

川崎さんは、亡くなった娘のために何かできることはなかったのかと思ひ悩んでAEDに出会い、その思いを行動に移した。講習で子どもたちは確かな実体験を積み、一生懸命指導してくれる川崎さんたちの姿を目に焼き付けていった。

何かを続けていくには、信念がある。続いて行くから広まっていく。後のアンケートで、「AEDを見たら、アッと思う」と書いた子どもがいた。ここにもまたひとり志を引き継いでいくものができたことを一緒に喜びたいと思う。



少年少女合唱団マーレ事務局 徳本 範子

木田小学校

命について考えること

「命に向き合い」「命について考える」ことは、今の子ども達にとって非常に大切なことです。木田小学校PTA教養委員会では、「命の大切さ」を考えることに重点をおいて活動しています。その一つが、6年生とその保護者を対象としたBLS公開授業です。

子ども達が、実際に胸骨圧迫やAEDを体験し、皆で協力して命を助ける大切さを学ぶ事ができると共に、親子で「命」について考える時間をもてる事が素晴らしいと思ひ、毎年企画させていただいています。

この実習により、将来起こるかもしれない突然の出来事にも勇気をもって行動できるようになりました。「命の大切さ」を学ぶことにより、そこから「死」や「生」を見つめて「生きる」ことについて考えたりしながら、未来に向かって生きていく力になってほしいと思っています。



PTA教養委員長 高木 勉



NPO法人命のバトンでは、小学生へのBLS(一次救命法)授業を実施しています。授業時間は各校のニーズに柔軟に対応できる様、45分授業(1時限)、90分授業(2時限)のプログラムを準備しております。

酒生小学校

繰り返し学ぶこと

僕はAEDの使い方をわすれていて、今回の学習で思い出せたのでよかったです。人がたおれるなんてないほうがいいけれど、もしあったらしっかり対応できるようにしたいです。改めて命のたいせつさを知りました。



一人でも多くの人の
協力が大事

杜南小学校

いのちのバトンをつなぐ

今日の経験で、自分や周りの人の命の重さ、大切さがよくわかりました。

AEDの使い方や胸骨圧迫のやり方を教えてもらい、人を助ける一歩を踏み出せました。自分の出来ることを精一杯やろうと思います。



清水東小学校

「自分でできる救急法」で 踏み出す一歩

一人で人を助けようと思わず、他の人を呼び協力してもらうことが大切だと分かりました。これからは自分の命も大切に、他の人の命も大事にし、命を助けたいと思います。



武生第一中学校

生きるってすばらしい

今、自分がここにいるということはあたりまえのことではなく、ものすごい奇跡なんだなと思いました。普段健康で生きている人でもいつどうなるか分からない。そうなったとき、自分がその人の命をつなぐことができるのなら少しでも力になりたいなと、お話を聞いて思いました。私は小学校の頃に一度AEDについて教わったことがあります。でも、日がたっていくにつれて忘れてしまっていました。なのでとてもいい機会になりました。もし、友達が目の前で倒れてしまったら、命をつなげられるように助けたいと思います。生きたくても生きられなかった人のためにも精一杯生きたいです。そして、命が働いてくれていることに感謝したいです。手を心臓の位置にあてると「ドクッ ドクッ」と聞こえます。ああ、生きているってすごいなと思いました。今回映像を見ていたときに涙目になりました。お話をきいてこれから教わったことを忘れずにいたいです。周りの人の命を大切に、そして、自分の命を大切に生きていきたいです。生きる。生きている。って本当にすばらしいことだと思いました。



BLS授業を受けたみんなの感想!!